

# 令和5年度事業計画書

令和5年3月24日

公益財団法人高知勤労者福祉サービスセンター

## 令和5年度事業計画

クンペル高知は、昭和47年12月に「高知市勤労者互助会」としてスタートした。

昭和53年7月に制度一新により「新生 高知市勤労者互助会」として再スタートし、平成30年7月には再スタート後40周年を迎えた。この間、平成6年に鏡村・土佐山村を圏域に加えるとともに法人化を図り、平成10年に南国市が加わり、平成24年には公益法人化を図った。

また、令和2年度には定款の変更等により加入対象の拡大を図り、令和2年10月に高知市会計年度任用職員等1,175名が新たに加入するなど、会員数は大きく伸びたものの、大きな流れとしては、経営の先行きが不透明なことや、経営者および職員の高齢化、後継者不足等による事業所の廃止が増加傾向にあり、それに伴い、加入事業所数及び会員数も減少傾向にある。

このような中小企業の経営環境が厳しさを増す中で、クンペル高知は、最優先事項として会員事業所の拡大に取り組む。

### 1 会員の拡大

昨年度に引き続いて、全国的な民間福利厚生サービスの導入をテコに、様々なデジタル技術の活用や、他のセンターの取り組み状況も踏まえ、役員の幅広い人脈の活用等協力も得ながら、事業所訪問を積極的に行う。

### 2 福利厚生サービス等の充実や利便性の向上

クンペル高知は、慶弔共済給付金や各種助成金事業を柱として、コンサートやシネマ、ランチ・ディナーなど多彩な事業を会報誌に掲載し、また、協力事業所と連携しながら様々なサービスを会員に提供してきた。また、コロナ禍にあつては、テイクアウトの弁当等、提供可能な新たなサービスも実施してきた。

しかし、コロナ禍が続く中で、「新しい生活様式」が定着したことや、そのことで急速に進んだデジタル化等により、会員のサービスに対するニーズや価値観が急激に変化したこと、高齢化の進行や、新たな問題としての物価上昇等、時代の変遷から見直しが必要なサービスもある。当面は、ベネフィットワンを活用した映画チケットや、金券等の販売の拡充に取り組む。

### 3 新たな業務システムの検討

現在使用している業務システムの使用期限が令和6年9月末に満了することから、新たな業務システムを選定するに当たり、その前提として、会員事業所からの紙申請をオンライン申請に移行する等、会員事業所の事務負担の軽減や、キャッシュレス決済、チケットのペーパーレス化等、会員の利便性向上に寄与する業務システムの導入に向け、費用対効果等も含め検討を行う。また、令和4年度の剰余金を、当該業務システムの更新費用として、積立資産に計上し、今後の経済状況も見極めながら、会費の値上げについても検討していく。

## <事業計画>

### 1 在職中の生活安定事業

慶弔共済給付金／5年在会記念品(490名)／生活・教育資金貸付／介護サービス利用助成(15名)

#### ○ 在職中の生活安定をめざして

##### (1) 慶弔共済給付事業

一般財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会との協定に基づき、各種祝金・見舞金・弔慰金の共済給付事業を推進する。

##### (2) 生活資金・教育資金の貸付事業

四国労働金庫の協力を得て実施しているが、今後も引き続き制度の周知に努める。

##### (3) 5年在会記念品給付事業

センター独自の事業として、令和5年度も5年在会の会員に対し、記念品(防災用品)を贈呈する。

##### (4) 高齢対策支援事業

在宅で介護する会員を支援するため、介護サービス利用助成事業を引き続き推進する。

##### (5) 「こくみん共済」(こくみん共済coop)、「全福ワンコイン労災(労災の上乗せ補償)」・「全福ネット入院あんしん保険、全福ネットあんしん労災」(全福センター)のPRに努める。

### 2 健康維持増進事業

行事名		予定人員	備考
生活習慣病予防検診・人間ドック受診助成		1,905	
プール	市営プール(温水)	440	
	県営プール(温水)	170	
	くろしおアリーナ(温水)	50	
トレーニング	市営トレーニング	330	
	くろしおアリーナトレーニング	170	
	南国市立スポーツセンタートレーニング	100	
入浴券	オーベルジュ土佐山	120	
	ながおか温泉	400	
テニス・ゴルフスクール利用助成		10	
家庭常備薬斡旋		全会員	年2回
夏期プール	市営プール(水)	200	
	県営プール(水)	120	
	くろしおアリーナ(水)	80	

○ 健康の維持増進をめざして

(1) 生活習慣病予防検診・人間ドック受診助成事業

勤労者にとって大切な健康づくりや健康チェックのために、引き続き生活習慣病予防検診や人間ドックの受診助成を行う。

(2) 健康維持増進のための施設利用助成

「高知市トレーニング施設」「南国市立スポーツセンター・トレーニング室」「県営・市営プール」「各種入浴券」の利用助成を行う。

(3) 健康維持増進に係る斡旋事業

平成 18 年度より開始した「家庭常備薬」の斡旋事業について、引き続き斡旋を行う。

3 老後の生活安定事業

老後の生活安定をめざして、「中小企業退職金共済制度」（全福センター）、「ず〜っとあんしん共済」（こくみん共済 coop）の普及・加入促進に努める。

4 自己啓発及び余暇活動事業

行 事 名		予定人員	備 考
新入社員研修		10	4 月
NHK 学園受講助成		10	
交流館講座助成		105	
旅行参加助成		20	
映画チケット		500	年 1 回
ランチパスポート		1, 100	年 4 回
セミナー・イベント等		550	
図書カード NEXT 等		250	
観劇・コンサート・展覧会等		1, 685	
夏季プール	セリーズプール	1, 000	
ビアガーデン		850	6 か所
食事チケット		9, 490	
ゴルフ練習場	イーグル荒倉・セリーズ	650	
ボウリング	ボウルかつらしま	18	取扱い終了
ギフト斡旋(ハム等)		全会員	年 2 回

○ 自己啓発及び余暇活動の充実をめざして

- (1) 「利用割引協定契約施設」が減少傾向にあることから、新規開拓に努めるとともに、その利活用を推進する。また、全国の S C 会員の利用推進に取り組む。
- (2) 「図書カード N E X T」等の販売助成などを継続する。
- (3) ホテル等飲食店で行なう期間限定の季節メニューなどの利用助成を引き続き実施するとともに、引き続きテイクアウトメニューも提供する。
- (4) 生涯学習奨励との観点から、NHK 学園の通信講座、ユーキャン、新入社員研修等の受講助成を行う。
- (5) 文化教養レクリエーション支援事業として、観劇・コンサート・展覧会・映画のチケット等の利用

助成を行う。

- (6) 自己啓発やリフレッシュなど様々なニーズに応えるため、引き続き当交流館で実施する自主講座に参加する会員への受講助成を行う。

## 5 財産形成に係る事業

住宅資金貸付事業

四国労働金庫の協力を得て実施しており、近年、住宅資金の貸し付けが増加している。今後も、センター会報誌等を通じて周知に努める。

## 6 情報提供事業

・会報誌 ・ガイドブック ・利用割引ガイドブック ・全国協定案内チラシ ・ホームページ

### ○ 情報の提供

- (1) センター会報誌「クンペル高知」を隔月（偶数月）年間6回発行し、会員の福利厚生の上昇に役立つ情報を提供する。
- (2) ホームページやSNS等の活用を通じ、SC事業の周知を広く行う。
- (3) 高知県労働福祉協議会やこくみん共済、四国労働金庫などの関係機関と連携を図りながら、生活の安定や健康増進等に資する様々な情報を提供する。
- (4) 全福センターや中・四国ブロック協議会等を通じ、全福会員向けのサービス事業に関する情報を収集し、会員への提供に努める。

## 令和5度高知市勤労者交流館管理運営事業計画

### 1 指定管理について

勤労者交流館指定管理の協定期間は、平成31年4月1日から令和6年3月31日までであり、令和6年4月1日以降の指定管理について、令和5年度に公募が行われる予定である。

前回の公募での応募は当センターのみで、指定管理者に選定された。

#### ○ 令和5年度高知市指定管理者選定手続きの流れ（概略）

- ・ 6月：市議会に指定管理者選定方針を説明
- ・ 7～8月公募開始（募集期間1か月以上）
- ・ 10月：選定
- ・ 12月：市議会に指定管理者指定に関する議案提出

### 2 施設の管理運営

建物や設備の経年劣化が年々進んでいることから、利用者数の向上や、収支の改善に向けて、下記の点に留意しながら管理運営を行う。

- (1) 「高知市勤労者交流館管理運営に関する協定書」に基づく善良な管理を実施する。
- (2) 「高知市勤労者交流館管理運営マニュアル」に基づき、利用者に対してきめ細やかなサービスに努める。
- (3) 施設・設備の計画的な改修および修繕に向けて、今後も高知市と協議しながら取り組む。
- (4) 貸室の料金体系について、高知市と協議しながら見直しに取り組む。

### 3 貸室及び講座事業の実施

貸室事業については、勤労者交流館の老朽化に加えて、利用者の高齢化や固定化傾向が強まっており、また、インターネット予約ができない、利用定員に比べて駐車場数が少なく、場所も点在している等使い勝手が悪い等、構造的な問題が多いことから、今後も厳しい収支状態が続くと思われる。まずは当施設を知ってもらい、新規の利用登録を増やすことが最優先であることから、例えば魅力のある単発的な講座を開催する等、広く市民への周知に努める。

講座の開催については、昨年度同様に「前期」・「中期」・「後期」年3期開催し、5月8日からの5類移行に合わせて、中期からは人気のある講座の応募数を、駐車場に配慮しながら一定増やす等、コロナによる制限を解除し、利用者のニーズに応じていく。また、人気のない講座については、入れ替えの検討を行う。

さらに、昨年度同様、貸室・講座事業の置かれた環境とその厳しい運営状況を踏まえ、勤労者交流館の設置目的や存在意義が今の時代にマッチするものかどうか検証し、交流館の在り方を根本から問い直すことが必要であることから、高知市との協議を継続する。

### 4 総合労働相談の実施

雇用関係や労働条件に関する様々な相談に対応するため、毎週火曜日に社会保険労務士会の協力を得て開催している。令和5年度も高知市広報「あかるいまち」やセンター会報誌・ホームページ等で周知に努めながら引き続き開催するが、一方で開催日数に比して相談件数が少なく、隔週による開催等、体制に関する検討を行う。

## 令和5年度ファミリーサポートセンター受託事業計画

### 1 こうちファミリーサポートセンターについて

「こうちファミリーサポートセンター」は平成16年7月に開設し、平成16年度末の会員数268名、同年度の活動件数343件であったものが、一時期会員数は1,300名を超え、活動件数も多い年度は8,000件を超えていたが、少子化の進行もあり、近年の会員数は1,200名前後で推移している。

#### (1) 年間活動予定（概要）

- ・ サブリーダー会：8月を除く年11回開催、サブリーダー9名配置
- ・ 交流会：会員とその家族を対象に年1回開催
- ・ 保育サービス講習会：年4回・・・援助会員の増を図るため、昨年度よりも1回増やして開催、また、1回当たりの日数も3日から2日にして、受講者の負担も軽減する
- ・ フォローアップ講習会：年3回（昨年度より2回減）・・・保育サービス講習会にシフト
- ・ ふぁみサポ通信の発行：年2回×2,200部、配布先：会員・保育園・その他関係施設
- ・ 町内会への広報チラシ：年4回×12,000部・・・効果が高いため、昨年度に引き続き実施

#### (2) 研修会・交流会参加予定

内 容	開 催 地
女性労働協会主催 全国アドバイザー講習会・交流会	大阪
女性労働協会主催 リスクマネジメント実践セミナー	大阪
高知県主催 アドバイザー研修会	高知

#### (3) 関係機関との連携

- 保育所や幼稚園との連携
  - ・ ファミリーサポートセンターの事業説明（公立保育園、民営保育園、私立幼稚園）
  - ・ 会報誌「ふぁみサポ通信」を年2回配布
- 子育て支援センターでの援助活動の実施
- 民生委員児童委員協議会での事業説明、民生委員児童委員全員にチラシを配布
- 子育て支援センターやふれあいセンター、ソーレ、オーテピア、高知市こどもの図書館など、行政機関を含む関係機関 約250か所に会報誌を年2回配布

## 2 なんこくファミリーサポートセンターについて

「なんこくファミリーサポートセンター」は平成29年10月に開設し、令和5年10月から6年目を迎えた。

これまで順調に会員数も増加してきていることから、令和9年度末までに会員数を300名に増加させることを目標に取り組みを進める。具体的には、積極的な広報活動や、講習会受講者を増やすことを目的に、講習会の内容をより分かりやすくし、同時に充実もさせていく。また、現在取り組んでいる依頼会員から援助会員への移行促進に関する取り組みや、援助活動の多様化につながる、児童館や地域子育て支援センターを拠点とした援助活動の促進等も、より一層進めていく。

### (1) 年間活動予定（概要）

- ・ 全体交流会：会員とその家族を対象に年1回開催
- ・ ミニ交流会：地域子育て支援センターを利用中の親子を対象に年2回開催
- ・ 保育サービス講習会：年2回
- ・ フォローアップ講習会：年3回
- ・ ふぁみサポ通信の発行：年2回×300部、配布先：会員・保育園・その他関係施設

### (2) 研修会・交流会参加予定

内 容	開 催 地
女性労働協会主催 全国アドバイザー講習会・交流会	大阪
女性労働協会主催 リスクマネジメント実践セミナー	大阪
高知県主催 アドバイザー研修会	高知

### (3) 関係機関との連携

- 南国市保健福祉センター，南国市福祉事務所等への相談や情報共有
- 保育施設，学童クラブとの連携
- 地域子育て支援センターとの交流（意見交換・交流会）
- 南国市社会福祉協議会での事業説明，連携
- 地域のイベント会場でのチラシ配布や，会員募集の協力
- 県内外のファミリーサポートセンターとの情報交換